

昭和十二年七月九日立案

書記官長



主筆

書記官

書記官



開業局官制中改正ノ件審査報告

(別紙ノ通)

相

密

院

關東局官制中改正ノ件審査報告

謹テ今同御諮詢ノ關東局官制中改正ノ件ヲ審査スルニ本件ハ

本件

關東州内ノ

加

(一) 關東州^{本件}於テハ近年人口ノ激増ニ伴ヒ都市及村落ノ發展著シ

ク土地ノ利用開發漸ク旺^盛ナラントスルノ趨勢ニ鑑ミ當局^{州内ノ}於テ

ハ此ノ際關東州^{州内ノ}計畫令(勅令)ノ制定ニ依リ綜合的計畫ノ下ニ土

地ノ整理ヲ行ヒ利用開發ノ統制ヲ為サントスルニ由リ之ガ準備

梅
澤
陽

秘密院

及實施ニ必要ナル諸般ノ事務ヲ處理セシムル為メ州廳ニ配

置スベキ事務官及技師各一人並ニ屬及技手各二人ヲ増員シ

滿洲ニ於ケル我が在郷軍人及壯丁ノ數、滿洲事變ヲ契機トシ

テ急激ナル増加ヲ來シ就中、大連市ニ於テ甚シク、從テ並兵事

事務ノ増加顯著ナルニ由リ、之ヲ處理セシムル為メ大連民政署ニ

配置スベキ屬一人ヲ増員シ

不可離ノ關係ヲ有スルニ因テ、建國以來統制經濟主義ヲ採用シ

各種產業ノ合理的發展ヲ期シ、ソツアルガ故ニ、開東州ニ於テ之

ヲ統制スルニシテ、管内ノ重要產業ニ對シ、所要ノ統制ヲ加フルノ要アリ

リ、又管内ニ於ケル中小高ニ業者ハ、近年内外經濟事情ノ變遷ニ因リ

逐年苦境ニ陥リ、ソツアルノ現状ニ鑑ミ、其ノ團體的競争力ヲ確

保シ、自力更生ヲ為サシムルノ要アルニ由リ、並ニ開スル事務ニ從事セシム

ル為メ本局及州廳ニ配置スベキ事務官及技師若一人並ニ屬二人ヲ増

近來地域ニ付テハ近接セル

員ニ(四)開東州ニ於ケル各種漁業ハ近年著ク其發展ヲ遂ゲタルガ

同地ト密接ナル地理的關係ヲ有スル滿洲國、中華民國及北支ノ

地域トノ間ニハ才ガ多ク種々複雑ナル關係ヲ生ズルニ到リ、又州内

任ニ千萬有餘ノ滿洲國人ノ漁業ハ最近著ク不振ニシテ漁村ノ

窮乏逐年深刻ノ度ヲ増シソウナル等ノ事情ニ鑑ミ、連ニ開東州漁

業令(勅令)ヲ制定シテ漁業權ノ設定、漁業ノ保護取締、水産

其他漁業、開セル事務

物繁殖ノ保護、水産關係團體ノ統制等ヲ行フノ要アルニ由リ

才ニ關スル事務ニ從事セシムル為メ州廳及民政署ニ配置スベキ技

師及屬若一人並ニ技師二人ヲ増員シ(五)開東州ニ於ケル各種農業ノ

改良發達ヲ圖ル為メ連ニ開東州農會令(勅令)ヲ制定シ在東ノ農會、

森林組合、果樹組合等ノ農業團體ヲ併合シテ強力ナル單一農會ヲ

組織（小）セシメテ充分其機能ヲ發揮セシメントスルニ伴ヒ其ノ

業務ノ指導監督ニ當ラシムル為メ州廳ニ配置スルハ一人ヲ増員

シ(六)關東州ニ於ケル畜産業ハ滿洲事變ヲ契機トシテ其ノ動向ニ

大轉機ヲ劃シ同地ニ於ケル食用及役用家畜ノ不足ニ對スル補給、

内地ニ對スル食肉及畜産原料ノ供給、候補軍馬ノ改良充實、羊

見自他國策ヘハ協力等ノ必要ニ迫ラレ管内ニ於ケル從來ノ畜産需給

ハ均衡ヲ失フニ到ル為メ此ノ際連ニ畜産ノ改良増殖ノ計畫ヲ立テ之

カ實施ヲ為サザルノ要アルニ由リ州廳ニ配置スルハキ技手二人ヲ増員

シ(七)關東州ニ於テハ其ノ特殊ノ事情ニ基キ今日ニ到ル迄舊法リ銀

行條例ニ準據シテ銀行ノ取締監督ヲ行ヒ来リタルガ曩ニ滿洲國

ノ成立以來滿洲ニ於ケル金融事情ニハ著大ナル變化アリ現行法ヲ

以テレテハ金融行政ノ運用上遺憾ノ點尠カラザルニ由リ近ク銀行

關係ノ諸法規ヲ整備シ以テ銀行、錢莊、其他金形機關ノ取締監督

ノ徹底ヲ期セントスルニ付、其ノ事務ニ當ラレムル為メ、本局ニ配置スベ

キ事務官一人及屬三人ヲ増員シ、(ハ)關東局ニ於テハ、從來南支又ハ北

支等ヨリ海路渡来スル匪賊、共產黨員、其他及滿抗日ノ不穩分子

ノ監視取締ノ為メ、管内ノ港灣ヲ連絡スル本航路ニ對シ、船舶警乗

ヲ實施シ、其ノ效果ヲ擧ゲ、ソノアルニ未ダ無警乗ノ航路船舶少カ

ク、トテ、到底警備ノ萬全ヲ期シ、難キニ由リ、警東監督ニ當ラシムル

為メ、水上警察署ニ配置スベキ警部補二人ヲ増員シ、(九)關東州ニ於ケル

密輸出及
密輸入ノ取締ニ關シテハ、從來相當ノ措置ヲ講シ居レルモ、管内ノ取

締區域ニ屬スル陸境及海岸線ハ、昔ニ相當長大ナルノミナラス、地方

ニ依リ、今尚暴力的密輸團横行シソアルノ現状ナルニ由リ、之ガ取締

ノ徹底ヲ期スル為メ、普蘭左警察署ニ配置スベキ警部補一人ヲ

増員ニ (十) 大連ノ沙口河警察署及小崗子警察署ノ署長ハ後未警察部

内ノ人口増加其ノ他ノ事情ニ因リ

ノ以テ之ニ充テタルモ前者ハ定員百七十名有スル大署ニシテ管内

ノ人口約十市萬ヲ算シ後者ハ定員百七十名有スル大署ニシテ

ト為リ又公土山領

管内ノ人口約十萬ヲ連シ執トシ警察事務頗ル繁劇ニシテ

警察署ニ付ニ附近ノ日滿兩國警備機關ノ長官ト權衡上各其ノ長官ニ從テ

權重キニ過ダレ由リ又同レリ警察部ヲ以テ署長ト充テタルハ公土

ニ當トルハ故ニ之カメ警察部三人ヲ警視三人ニ組織スル

警察署ニ定員百三十名有スル大署ナルガ滿洲事變以來

管内ノ發展著シク警察機關ノ擴充ヲ圖ルニ必要ナルノミナラス地方

警備ニ當レル軍ノ新隊長及憲兵隊長並ニ隣接滿洲國警察署長

ト權衡上判任官タル警察部ヲ以テ署長ニ充テルハ妥當ナラザレ由

警察部ニテハ

リ今後警視ヲ以テ右ニ署長ト充テル者ハ警視三人ヲ増員ス

トスルモノニシテ以上ノ諸項ヲ通ジテ合計事務官三人、技師三人、警

視三人、屬十人、技手六人、警察部補入増員ニ計警視三人ニ組織ナル者

立ニ公土山領警察署四者ハ近未警

警部三人ヲ減員スル(第十四條)外陸軍武官官等表ノ改正ニ依リ陸

軍武官ノ名稱ノ變更セラルタルニ伴ヒ關東局事務官ノ補職ニ關

スル規定ヲ整理セントスル(第十四條)モノナリ而シテ右増員ニ要スル

經費ハ本年度豫算ニ計上セラレタリ

之ヲ要スルニ本件ハ關東局ニ於テ多方面ニ直リ事務上ノ必要ニ

依リ職員ノ定員ヲ變更シ他ノ法令ノ改正ニ伴ヒ條項ノ整理ヲ

為サントスルモノニシテ別ニ支障ヲ認メザルニ由リ此ノ儘之ヲ可決セ

ラレ然ルベシト男料マ

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十二年七月十日

書記官長

議長

秘

昭和十二年七月十六日

委員長 黒田顧問官 出

委員 原 顧問官 和

窪田顧問官

元田顧問官 出

石塚顧問官 出

清水顧問官 出

南 顧問官 出

陪審法中改正法律案帝國議會へ提出ノ件審査報告